

中国・四国インターネット協議会の活動にみるその時々地域情報化におけるムードの重要性



中国・四国インターネット協議会 (CSI)
広島大学
相原玲二

2008年11月26日 IW2008

地域活動 20年間のあゆみ

- 1989～1993年 任意団体設立以前
- 1993～1999年 任意団体設立
- 1999～2007年 NPO法人設立
- 2007～2008年 NPO法人解散準備

それぞれの時期ごとに
強いモチベーション！

任意団体設立以前

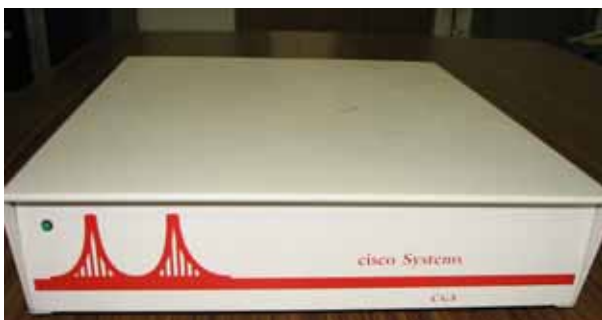
- CISCO, Proteon, SunWSなどを駆使
- 汎用機用TDMやX.25網の余剰回線
 - 広島大学内キャンパス間接続、JAIN
- SLIP, UUCPにより電話回線経由接続
- BITNETゲートウェイ(UREP)など

糸電話状態
何とかしなければ！

3

はじめてのIP通信(1990年7月)

- 中国・四国地区で最初のIP接続
 - JAIN: IP over X.25, 48Kbps
 - 広島大学(広島県東広島市)



CISCO CGS



Serial
V.35

Ethernet
AUI

4

任意団体CSI設立まで

- 1991年 3月22日 村井純先生 講演会(広島大学 東千田キャンパス)
- 1991年12月 7日 広島ネットワークミーティング(広島大学 東千田キャンパス)
- 1993年 1月22日 中四国インターネットシンポジウム(広島工業大学 広島校舎)
- 1993年 3月26日 中国・四国インターネット協議会 設立総会(広島県情報プラザ)

5

1993 ~ 1999年

任意団体CSI設立

- JAIN, WIDEへマルチホーム接続
- JPNICへ加入
- インターネット普及啓発活動の本格化
- 教育現場でのインターネット活用(100校)
- マルチメディア通信への展開(NTT実験)

劇的な普及拡大
走るしかない！

6

1999 ~ 2007年

NPO法人設立

- NPO法人の制度がスタート
- 不明確な依存関係(費用負担)の解消
 - SINET,WIDE,商用ISPマルチホーム
- 教育現場での活用(マメdeがんす)
- JGN, JGN2への参加

SINETや商用ISPが登場してきたが
ISP全面依存は困難!

7

1999 ~ 2007年

NPO法人設立

- ISP事業
 - 一部のアウトソーシング(1999 ~ 2003年)
 - 大部分アウトソーシング(2004年 ~)
- 研究研修事業
 - マメdeがんす, JGN, JGN2など
 - 多数の研究成果 **学位取得等**
 - ネットワークマスター虎の穴(2005年 ~)
 - 有料・無料 4年間で計18回開催 **定着**
 - **若手の運営委員**を中心に精力的に実施

事業の重心変更 着地点の模索

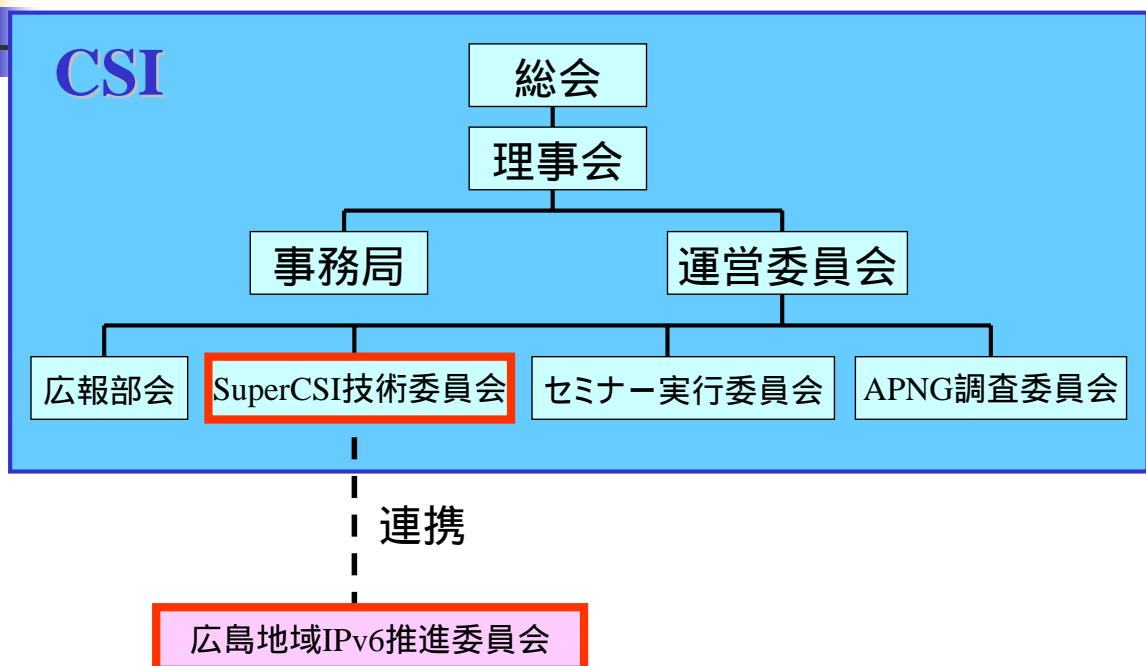
8

NPO法人解散準備

- ISP機能を事業者へ引継ぎ
 - アドレスなどの資源引継ぎも完了
- NPO法人維持のオーバーヘッド大
- 当初の目的達成
- 関係者の固定化 = 組織の老朽化

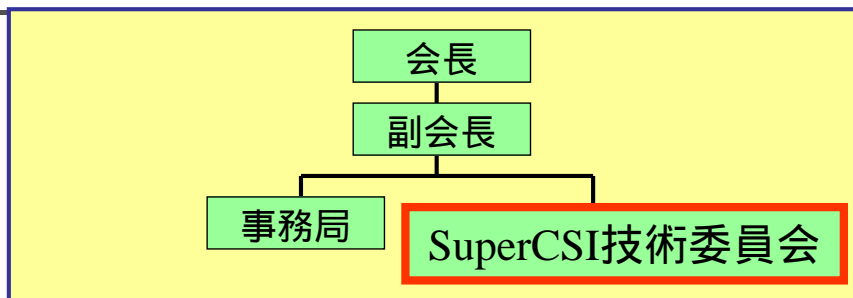
新たな展開のために
ここらでリセット！

今後について(2008年まで)



今後について(2009年以降)

SuperCSI運用連絡会



連携

新しい活動

広島地域IPv6推進委員会の若手を中心に

インターネットのさらなる健全な発展に寄与

11

CSI公開シンポジウム Final

～インターネットの更なる飛躍を願って～

2008年10月24日



2008年12月末日で解散

12



ICTに地域性はあるか？

- インターネットはグローバル
 - 国境は無い、機器は大量生産
- ネットワークは人と人のつながり
 - 地域ごとに独自性
 - 自分たちが大切に育てることが重要
- ネットワークは共有物(道路や川)
 - 人のネットワークも情報のネットワークも地域の宝:皆で守り育てる
 - 地域の道路や川:近所の人々が草刈や掃除

13



ICTによる地域活性化の活動

- 強い意志とゆるがない方針
 - 自らの手で作り育てる気概が必要
- 継続すること(諦めないこと)
 - 最低10年間は頑張る
 - 時々は初心に帰る
- Give & Take
 - 「お互いが幸せ」となる工夫が必要

14